

●第15回臨床解剖研究会のご案内

会 期：2011年9月2日（金）・3日（土）

会 場：東京大学弥生講堂（東京大学弥生キャンパス内 〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1）

当番世話人：光 嶋 勲 教授（東京大学医学部形成外科教室）

概 要：シンポジウム：「神経・血管・リンパ管解剖の臨床応用」

ワークショップ：「穿通枝皮弁について」

一般演題：「臨床解剖に関する演題」

演 題 募 集：一般演題を募集いたします。詳細は <http://www.h.u-tokyo.ac.jp/plastic/> をご覧ください。

演題募集期間：2011年4月1日（金）～5月31日（火）

当番事務局・問合せ先：第15回臨床解剖研究会事務局

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部形成外科

（電話 03-5800-8777）

* * *

●編集後記

第14回臨床解剖研究会学術集会の記録集（臨床解剖研究会記録11号）をお届けします。この学術集会は2010年9月11日（土）に金沢大学医学部松井 修教授（放射線医学）のお世話のもとに金沢市で開催されました。今回は、一般演題に平行して肝臓の臨床解剖に関するシンポジウムが行われましたが、韓国の肝臓外科の権威趙白皖全州大学教授を含めた豪華メンバーによる講演と白熱したディスカッションは領域を異にする聴講者にも大いに参考になるものでありました。松井先生をはじめとする金沢大学の先生方に敬意と感謝の念をささげます。

最近、趙白皖先生の肝いりで韓国にも臨床解剖研究会が立ちあげられました。暫定的に Korean Research Society of Clinical Anatomy (KRSCA) と称していますが、創立学術集会が、同国の 6th Liver Dissection Symposium との共催で2011年2月19日（土）にソウルで開催されました。JRSCA の幹事竜 崇正先生（千葉県がんセンター）は診療・研究が同じ分野の趙先生とは互いに尊敬しあう仲であり、竜先生お口利きに便乗して小生もこの旗揚げ集会に参加させていただいた次第です。学術集会は午前中3時間に計6題で、その中で、お祝いとして竜先生は“New liver anatomy from the viewpoint of portal segmentation and drainage vein”を、小生は“Video demonstration of a dissection of stomach lymphatics”を口演し、手ごたえを感じております。詳しくは、いずれニュースレター紙上で竜先生にご報告していただきたいと考えておりますが、韓国の臨床解剖の質は非常に高く、学ぶべきところが多いと思われました。これまで世界の臨床解剖学会の学術集会では、韓国からかなりの数の解剖学者が参加しておりましたが、臨床医はまれであったことを考えますと、これが契機となって解剖と臨床の相互の協力態勢が緊密化する期待されますし、また我が国と韓国の臨床解剖学研究者の相互協力と切磋琢磨も重要と考えられます。解剖と臨床の融合ならびに日韓の協力という2種類のコラボレーションが実現されるように努力したいものです。

来る9月2・3日には光嶋 勲教授の下で東京大学において第15回臨床解剖研究会が開催されます。形成外科学関連のシンポジウムも企画に含まれると思われませんが、形成外科学は解剖学と最も緊密な関係をもった分野であることを考えると、領域や専門性が異なっても講演から自分の分野にも参考になるサジェスションを得ることができると思われれます。一人でも多くの会員が参加されるようお願いいたします。（会長 佐藤達夫）

臨床解剖研究会記録 No. 11 2011年2月発行

編集・発行 臨床解剖研究会

東京医科歯科大学臨床解剖学

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL 03-5803-5145 FAX 03-5803-0116

<http://www.jrsca.jp/>

印刷・製本 小宮山印刷工業株式会社
